

幅 1 ~ 2.5 mm である。外面は灰黄緑色～灰黄色で、互いに密接する 2 個の分果の各々には 5 本の隆起線がある。双懸果はしばしば長さ 2 ~ 10 mm の果柄を付ける。

本品は特異なおい及び味がある。

本品の横切片を鏡検するとき、腹面に近い隆起線は背面のものより著しく隆起し、各隆起線間に 1 個の大きな油道があり、腹面には 2 個の油道がある。

**確認試験** 本品の粉末 0.5 g にヘキサン 10 mL を加え、時々振り混ぜながら 5 分間放置した後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 5  $\mu$ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン/酢酸エチル混液（20 : 1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 254 nm）を照射するとき、 $R_f$  値 0.4 付近に暗紫色のスポットを認める。

**純度試験**

- (1) 果柄 本品は果柄 3.0 % 以上を含まない。
- (2) 異物 本品は果柄以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 10.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

精油含量 本品の粉末 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.7 mL 以上である。

## ウイキョウ末

Powdered Fennel

**FOENICULI FRUCTUS PULVERATUS**

茴香末

本品は「ウイキョウ」を粉末にしたものである。

**性状** 本品は帯緑淡褐色～帯緑褐色を呈し、特異なおい及び味がある。

本品を鏡検するとき、アリューロン粒を含む外胚乳の柔組織片、脂肪油を含む内胚乳の柔組織片、特異な単膜孔の明らかな厚壁組織片、壁面に黄褐色の内容物を附着する油道の破片、階段状に配列した細胞から成る内果皮の組織片、らせん紋道管、表皮又は気孔を伴った表皮の破片を認める。

**確認試験** 本品 0.5 g にヘキサン 10 mL を加え、時々振り混ぜながら 5 分間放置した後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 5  $\mu$ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン/酢酸エチル混液（20 : 1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 254 nm）を照射するとき、 $R_f$  値 0.4 付近に暗紫色の主スポットを認める。

灰分 10.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

精油含量 本品 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.45 mL 以上である。

**貯法** 容器 気密容器。

## ウイキョウ油

Fennel Oil

**OLEUM FOENICULI**

フェンネル油

本品はウイキョウ *Foeniculum vulgare* Miller (*Umbelliferae*) 又は *Illicium verum* Hooker fil. (*Illiciaceae*) の果実を水蒸気蒸留して得た精油である。

**性状** 本品は無色～微黄色の液で、特異な芳香があり、味は初め甘く、後にわずかに苦い。

本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。

本品は水にほとんど溶けない。

本品は寒冷時にはしばしば白色の結晶又は結晶性の固形物を析出する。

**確認試験** 本品 0.30 g をヘキサン 20 mL に溶かす。この液 1 mL を正確に量り、ヘキサンを加えて正確に 10 mL とし、試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 5  $\mu$ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン/酢酸エチル混液（20 : 1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 254 nm）を照射するとき、 $R_f$  値 0.4 付近に暗紫色のスポットを認める。

屈折率  $n_D^{20}$ : 1.528 ~ 1.560

比重  $d_4^{20}$ : 0.955 ~ 0.995

**純度試験**

(1) 溶状 本品 1.0 mL にエタノール (95) 3 mL を加えるとき、液は澄明で、更にエタノール (95) 7 mL を加えるとき、変化しない。

(2) 重金属 本品 1.0 mL をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 4.0 mL を加える (40 ppm 以下)。

**貯法**

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

## ウロキナーゼ

Urokinase

[9010-53-1]

本品はヒト尿から得たもので、プラスミノーゲンを活性化作用のある分子量約 54000 の酵素である。適当な緩衝液を溶媒とした液である。

本品は定量するとき、1 mL 中 60000 単位以上を含み、たん白質 1 mg 当たり 120000 単位以上を含む。

**性状** 本品は無色澄明の液である。

本品の pH は 5.5 ~ 7.5 である。

**確認試験**

(1) フィブリノーゲン 0.07 g を pH 7.4 のリン酸塩緩衝液 10 mL に溶かす。この液に、トロンビンを生理食塩液に溶かして 1 mL 中に 10 単位を含むように調製した液 1 mL を加えて混和し、内径約 90 mm のシャーレに入れ、